

## 令和5年度 第1回御殿場市子ども・子育て会議議事概要

- 1 日時 令和5年12月14日(木) 午後2時00分から午後3時10分
- 2 会場 市役所 東館 202・203会議室
- 3 出席者 本崎肇委員(会長)、内山一世委員(副会長)、岩間慎太郎委員、  
原田利志美委員、砂山絵美委員、井上郁子委員、勝又秀文委員、  
池島真季委員、黒木純子委員、松井るみ子委員、高村典子委員  
計11人
- 4 欠席者 小野広美委員、勝又今日子委員、関浩次委員、馬淵昭彦委員  
計4人

5 事務局 計10人

### 6 会議の内容

- (1)開会
- (2)委嘱状交付
- (3)あいさつ
- (4)副会長の選出
- (5)報告事項

**議題(1)** 第二期御殿場市子ども・子育て支援事業計画の実施状況報告について

<議題(1)に対する質疑応答>

委員：0歳児の供給量が不足しているとのことだが、今の状況と今後についてどう考えているのか。

事務局：令和4年度に第二期御殿場市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行っており、令和5・6年度の計画値の量の見込みを変更している。令和2年度から4年度の実績を見てもわかる通り、計画策定時の想定以上に「実際に必要な供給量」が増えている。令和4年度時点で御殿場市の0歳児の3人に1人は利用している状態。実際、出生数自体は減少しているが、来年度入園の申込者数は0歳児のみ増えている。令和5年度の保育利用率はさらに上昇するのではないか。

委員：他市町村の保育利用率はどのくらいなのか。御殿場市は特に多いのか。

事務局：市町によってさまざまなので一概には言えない。

委員：0歳児は73名の供給不足、1・2歳児も14名の供給不足であるが、この数字はほぼすべて潜在需要量の数字になっているように見える。特定の園に入園できずに待っているということであると、園を増やしたからと言って潜在需要量が減るとは限らない。単純に新規園を増やしたからといって供給不足が解消されるのが疑問である。人気のある園の定員を増やせば解消に近づけるのではないかと考えるが、市民が希望通りの園に入れるような定員の設定など市としては方策を考えているのか。来年度の事業計画の策定についてもからめてお聞きしたい。

事務局：潜在需要量の内訳としては、人気のある園に集中して申し込みがあるというよりは、「上の子が通っている園に下の子も通わせたいからこの園しか希望しない」というパターンが多いように感じる。それぞれの家庭に応じた状況がある中、人気のある園というのは一概に言えない。市から既存の園に定員を増やすような働きかけはしていない状態だが、園から市に相談があれば対応をしていく。現在、私立の保育園でも定員がいっぱいになっていない状態なので、定員を減らすことも一つの選択肢としてある。

来年度、既存の園に定員の意向調査をし、人口の推計やアンケート調査結果等と照らし合わせながら第三期の事業計画を策定していく予定である。

委員：保育士不足解消に向けた取組として、保育士の子ども保育所入所を優遇するとか記載がない。保育士が不足しているのは保育士の給料が安すぎるのが原因ではないか。保育士の今の給料ではとてもではないけれど命を預かるような仕事はやりたくない。給料が安く、どこの園も保育士が集まらないために子どもが受け入れられない状況になっているのではないか。市としてはどう考えているのか。

事務局：処遇改善で少しずつ保育士の給料を上げている。御殿場市の基準を見直している。

委員：保育士不足解消に向けた取組として記載していないということは、やっているつもりになっているだけではないのか。本気で取り組んでいかないと解決されないのではないか。

事務局：今後も見直しを進めていく。

事務局：努力していくが、給料の問題だけで言うと急激には改善できない。そのため、できるところから、保育士の処遇から変えていこうという意味で取り組み内容としては記載させていただいている。

委員：それなら他の職場で働くと言われてしまうのではないか。資格を持っているのがもったいない。

委員：御殿場市は有効求人倍率が高く、給料が高いので保育士をしたい人が少ない。どこの保育園も苦戦している。

委員：私立の保育園だけでなく、公立の保育園も人手不足だと聞いている。公立の保育士の給料を上げられないのはわかる。私立も同じように難しい。国が処遇改善という形で積み上げているが、全国一斉。御殿場市は静岡県の中でも端にあり、隣が神奈川県。神奈川県は県独自、また横浜市など大きな都市では市独自で補助金を出している。保育士の給料に何万単位で積み上げがされている。それだけでも静岡県の保育士と何万円の給料の差が出てしまう。御殿場市からだともそういった神奈川県、東京都などの都市に簡単に通えてしまう。神奈川県では家一軒借りられるくらいの社宅の補助が出る。御殿場市がそういった都市に対抗していくのはなかなか難しい。可能だったら、御殿場市も何かしらのプラスの補助金があれば神奈川県に通いに行く保育士を引き留められるのではないか。もしくは他県、他市から来る保育士

にアピールできる強みとなり、選んでいただける市となるのではないかと。ぜひ子育て日本一を目指す御殿場市として、考えに入れていただきたい。

委員：3号認定（0～2歳児）の子どもに対しても保育料を無料にすると、保育士の給料を上げても保育料が上がる心配がなく、誰でも一定の安い料金で子どもを預けられる。そういったことを御殿場市では考えているのか。

事務局：今は御殿場市独自に第3子以降の保育料・副食費を無料にしているが、拡大して第2子以降の保育料・副食費を無償化することを検討している。

事務局：補助金を人件費にあてて出すのは難しいが、物価高騰にあてたものなど各保育所に市独自の補助金を出している。出来る形で市から補助を出していければと考えている。

委員：御殿場市で里親は何人くらいいるのか。

事務局：今契約をさせていただいている家庭は3組。

委員：少ないような気がする。里親に簡単にはなれないかもしれないが、ランクを下げてなりやすいようにすると興味のある方がいるのではないかと。核家族の家庭が多いと思うので、ショートステイも需要があるのではないかと。3組では少なすぎるので、もうちょっと増やせるように考えたらどうか。

事務局：努力していく。

会長：他に質疑が無いようなので、次の報告事項に移る。

#### 議題(2) 第三期御殿場市子ども・子育て支援事業計画の策定について

<議題(2)に対する質疑応答なし>

会長：特に質疑が無いようなので、次の協議事項に入る。

#### (6)協議事項

##### 議題(1) 利用定員の設定について

<議題(1)に対する質疑応答なし・可決>

会長：議事を終える。

#### (7)その他

事務局から情報提供を行った。

保育幼稚園課) ・神山認定こども園の満3歳児の利用定員増について

学校教育課) ・教育支援センターについて

子育て支援課) ・妊婦・子育て世帯・子どもの相談支援体制の強化について

・こども医療の無償化について

#### (8)閉会